

## きずな

学校教育目標「確かな学力と豊かな人間性を備え、  
力強く生き抜く生徒の育成」

### 夏を迎えて、日本人として 私たちが振り返るべき事

この時期になると、たくさんの楽しい計画が各家庭で企画されるのが日常ですが、今年はまだまだそうした日常には戻れそうにありません。幸いにして宮崎県内はコロナウイルス感染症もだいぶ落ち着いていますが、都会の様子を見るともう一息、我慢が必要かもしれません。

さて、タイトルに書いた「振り返るべき事」、何を意味しているか、分かりますか？

これは、「戦争」のことです。

すでに、実際に戦争を経験された方は、かなりのご高齢になっており、直接お話を聞くことも難しくなってきました。これを書いている校長自身も体験はしていません。

それだけに、戦争の記憶が風化してしまうのではないかと心配です。

6月22日の沖縄、8月6日の広島、8月9日の長崎、そして8月15日の終戦の日

これらの日に私たち日本人が行うべきは、「戦争の悲惨さ」を思い起こし、「二度と戦争を起こさない」という決意を新たにすることです。

ぜひ、ご家庭でも話題にさせていただきたいと思います。そして、実際に戦争を経験された方が身近にいらしたら、ぜひ子どもたちにその当時のことをお話しいただけると幸いです。



## 〇付けをしましょう

元愛知県の高校の先生だった宮本延春さんのお話を紹介します。

子どもがテストを持ってきました。1問〇であとは全部×でした。

ここでどっちを見るかです。「なんだこの点は！」より「おっ、1問正解だ。次は〇を2個にしよう」と言ったほうが楽しいはずですよ。

ちなみにこの話をしたら、あるお母さんが「先生、うちの子は全問×です」と相談してきたことがありました。

そうだったら「名前はきちんと書けたね」とか「これを親に見せる勇気が素晴らしい」とか、とにかく〇を見つけて伝えてあげてください。点数が悪くても見せたことをほめられたら、正直者になると思いませんか(笑)？

そういう言葉が出てくるほうがずっと素敵な親子関係だと思います。

明日、子どもたちは1学期の通知票を持ち帰ります。ぜひお子さんの「〇付け」をしてあげてください。

さらに、加えて大事なことは、子どもの存在そのものを大切に捉えているという親の気持ちです。「あなたがいることが一番大切だ」と親が思っていると感じたとき子どもは一番幸せです。お子さんの「〇付け」をすることを通して、親としてのそんな気持ちをお子さんに伝えてあげてください。



## HP をご覧ください

今年は、学校の様子をお伝えする役割は HP に任せています。ぜひご覧ください。



本日、米澤さんという語り部の方のお話を子どもたちにもたせています。一緒にご覧ください。